
近江八幡市

第2期商工業振興ビジョン

～人・モノが行き交い、にぎわいあるあきないの町 近江八幡～



令和7(2025)年3月

近江八幡市

はじめに

これまで、本市では第1次総合計画後期基本計画に基づき、令和3(2021)年3月に「近江八幡市商工業振興ビジョン」を策定し、商工業の振興に向けた取り組みを進めてまいりました。

現在、社会情勢は急速に変化しており、人口減少や少子高齢化といった長期的な課題に加え、頻発する自然災害やその激甚化、さらに物価の高騰といった経済的な圧力が市民生活や地域経済に深刻な影響を及ぼしています。また、急速に進展するデジタル化に対応した新たなビジネスモデルの構築や、地域商業のデジタル化が求められる時代に突入しており、これに対応できる地域の力が一層重要となっています。

このような社会的な背景を踏まえ、これまでの4年間で実施した施策を振り返り、その成果と課題を整理した上で、今後も取り組みを継続・充実させる必要があります。そのため、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度にかけての中長期的な視点で「近江八幡市第2期商工業振興ビジョン」を策定し、これからの商工業振興の新たな方向性を示すとともに、具体的な施策の展開を図ることといたしました。

本計画では、今後5年間の商工業のめざすべき姿として「人・モノが行き交い、にぎわいあるあきないの町 近江八幡」を基本理念に掲げ、「雇用の場の創出と人材の育成」「人とモノの交流による経済循環の創出」「既存産業の付加価値の向上」「新たな産業・起業の創出」「地域のポテンシャルを活かしたブランド力の強化・確立」の5分野を設定し、それぞれに対応する施策を展開していきます。

今後、本ビジョンの推進には、市、事業者、各関係団体等が中心となって進めてまいります。地域経済は市民生活にも密接に関わる重要なものであり、市民の皆様におかれましても、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本ビジョンの策定にあたり、ご尽力いただきました近江八幡市第2期商工業振興ビジョン策定検討委員会の委員の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力いただきました市内事業者の皆様、並びに各関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

令和7(2025)年3月

近江八幡市長

小西理

目次

第1章 ビジョンの策定について	1
1 ビジョン策定の背景と趣旨	1
2 ビジョンの位置づけ	1
3 ビジョンの計画期間	2
4 ビジョンの概要・構成	2
第2章 本市の商工業の現状及び課題	3
1 本市の商工業を取り巻く現状	3
(1) 本市の人口構造	3
(2) 本市の産業構造	8
2 本市を取り巻く社会・経済環境	14
(1) 少子高齢化・人口減少社会の到来	14
(2) ライフスタイル・ワークスタイルの多様化	15
(3) 社会のデジタル化	16
(4) 社会・経済のグローバル化	16
(5) 地方創生・田園回帰	17
(6) 持続可能な社会の構築及びDX推進に向けた挑戦	18
(7) 持続可能な商工業振興に向けたGXの推進	18
3 本市の商工業振興に向けた課題	19
(1) 人口に関する課題	19
(2) 商工業に関する課題	20
(3) 柔軟で持続可能な経済基盤構築に向けた対策	22
第3章 ビジョンの方向性	23
1 基本理念	23
(1) 本ビジョンの目的	23
(2) 商工業の振興に向けて	23
2 行動指針と施策	24
(1) 行動指針の考え方	24
(2) 5分野の設定	24
(3) 7つの施策と行動指針との連動	25
(4) 7つの施策とSDGsとの連動	25
3 ビジョンの体系	26

第4章 施策及び成果目標	27
施策1 幅広い人材が活躍できる多様な雇用環境を創出する	27
施策2 暮らしに根付いたサービスを提供する	29
施策3 市民と来訪者の新しい交流を推進する	31
施策4 地域に定着した事業活動を支援する	33
施策5 労働生産性の向上を推進する	34
施策6 地域資源を活かした新たな産業の創出と起業を支援する	35
施策7 近江八幡ブランドを構築し、新しい価値を創造する	37
第5章 ビジョンの推進体制	38
1 推進体制	38
2 進捗管理	39
資料編	40
1 策定の経過	40
2 近江八幡市第2期商工業振興ビジョン策定検討委員会設置要綱	41
3 近江八幡市第2期商工業振興ビジョン策定検討委員会委員名簿	42
4 用語解説	43
5 事業者向けアンケート調査集計結果概要	48

右上に※が付いている用語については、資料編の用語解説に掲載しています。

第1章 ビジョンの策定について

1 ビジョン策定の背景と趣旨

本市は、令和3(2021)年度から令和6(2024)年度を計画期間とする「近江八幡市商工業振興ビジョン」に基づき、各種施策を通じて商工業の振興を推進してきました。

そのような中、国内では人口減少や少子高齢化が進む一方、自然災害の頻発・激甚化や新型コロナウイルス感染症の影響で、経済や社会にも大きな変化が生じました。また、海外では国際競争が激化し、世界経済のグローバル化や急速な情報通信技術の進展、消費者ニーズの多様化など、商工業を取り巻く環境は大きく変化しており、産業を活性化させるための新たな施策が求められています。

本市では、平成31(2019)年度から令和10(2028)年度を計画期間とする「近江八幡市第1次総合計画」の中間見直しとして、令和6(2024)年3月に「後期基本計画」(以下、「総合計画」という)を策定しました。この計画における基本目標のひとつに「地域の魅力を掘り起こし、暮らしを支える産業を興します」と掲げ、商工業振興の方向性として、「商工業の活性化」「経営基盤の強化」「企業誘致の促進」「創業の推進」「雇用創出の推進」に取り組み、地域と産業の活性化を目指しています。

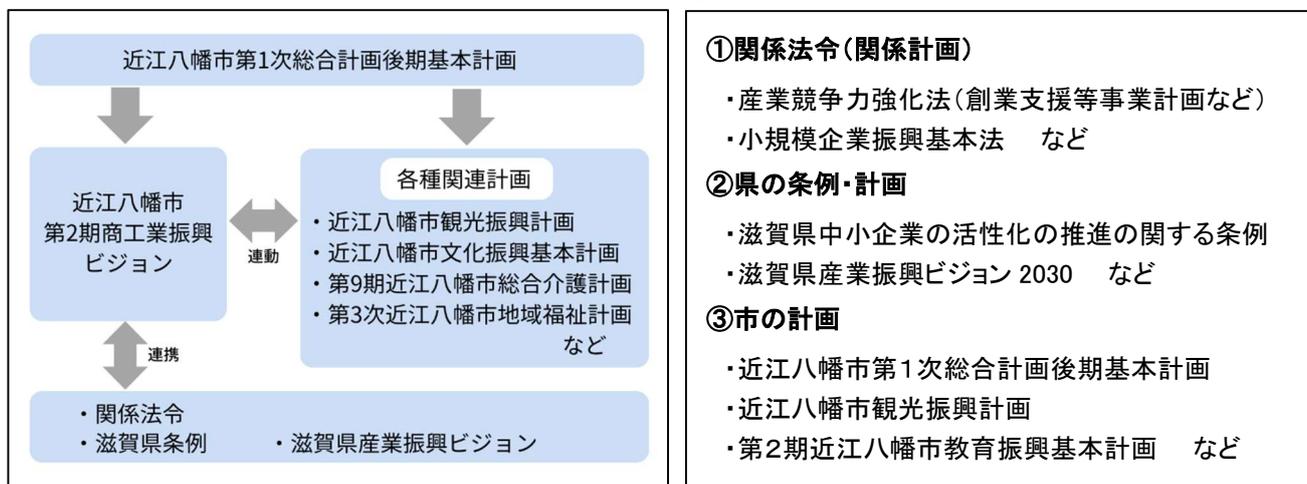
このようなことから、今後さらに進展する社会の変化を踏まえながら、総合計画に基づき、本市の商工業のさらなる振興を図ることを目的に「近江八幡市第2期商工業振興ビジョン」(以下、「ビジョン」という)を策定しました。策定にあたり、これまで推進してきた4年間の各種施策のあり方を整理し、本市の経済の持続的かつ安定的な成長を目指します。

2 ビジョンの位置づけ

ビジョンは、本市の最上位計画である総合計画の下に、商工業振興に関する分野別計画として位置付けます。

ビジョンの推進にあたって、国や県における産業及び商工業関連の法令や計画のみならず、市の他部門にて策定された個別計画において示された関係の深い施策と連動しながら、総合計画と整合を図りつつ、これからの本市における商工業振興の新たな方向性を見定め、具体策として展開していくこととします。

■位置付け



3 ビジョンの計画期間

ビジョンの計画期間は、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間とします。

4 ビジョンの概要・構成

ビジョンの策定にあたっては、社会・経済環境、市の現状、各支援団体へのヒアリングや市内事業者を対象に実施した「近江八幡市第2期商工業振興ビジョンアンケート調査(以下、事業者アンケートという)」、総合計画策定時に実施した市民アンケート、本市のふるさと納税協力者からの意見、近江八幡市第2期商工業振興ビジョン策定検討委員会や各種関係団体会議における多種多様な意見交換等の結果を整理し、ビジョン素案についての検討を重ねてまいりました。その後、パブリックコメントにおいて、市民のみなさまからのご意見をいただき、ビジョンの策定にいたしました。

■ビジョンの概要・構成(イメージ)

